

第5章 産業振興分野

第5章 産業振興分野

基本施策5-1 農林水産業

1 現在の取組と主な課題

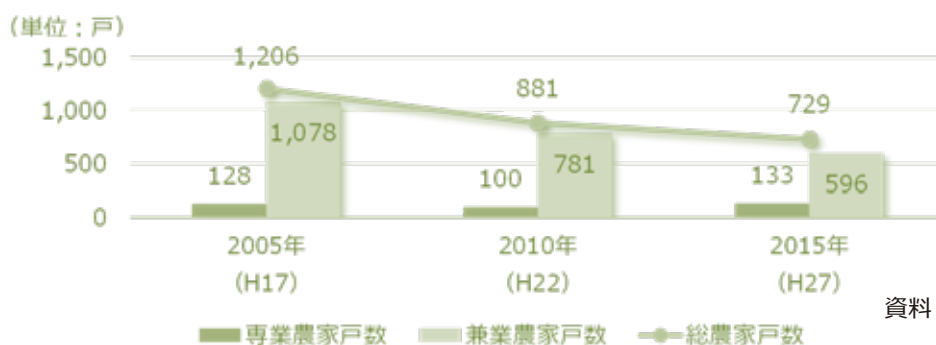
【現在の取組】

- 潮来市では、農業施策として農業経営基盤整備、担い手の育成、農地の集積及び維持保全を基本として取り組んでいます。
- 潮来市は水稲が中心であるため、米を主体とした6次産業^{*}化に取り組んでおり、現在は米粉麺(フォー)等の新たな特産品開発を進めています。また、市内の農家を中心として、イチゴを使った苺ジェラート等の特産品開発にも取り組んでいます。
- 道の駅いたこでは、平成29年度に農産物直売所のリニューアルや駐車場の改修を行い、農業生産品の売上も上昇しています。
- その他、市内の第1次産業では畜産業や水産業も行われています。

【主な課題】

- 農林水産業については、高齢化と後継者不足等により就業人口が減少する中、主要作物である米の産地間競争やブランド化など、新たな課題に直面しています。
- このような中で、新規就農やブランド化、6次産業化などの取り組みを進めていることから、農家等と連携しながら、このような取り組みを強化していく必要があります。
- また、潮来市の農業基盤についても、施設の老朽化や大規模化への対応等が求められることから、国・県の施策動向等を考慮しながら、必要な施策を講じる必要があります。
- 畜産業、水産業は、小規模ながらも潮来市の特徴的な食資源として支援していく必要があります。

図-農家戸数等の推移



キッチンカー「モット君」の販売風景



米粉麺「フォー」



特産品「苺ジェラート」

2 目指す姿

○豊かな自然の恵みを生かして、安全・安心で新鮮な農林水産物が生産され、地産地消[※]や加工食品の製造・販売等の6次産業[※]化が進んでいます。

3 目標指標

	目標指標	基準値 (2018)	目標値 (2023)
5101	認定農業者数	56人	58人
5102	潮来ブランド品設定数	2品	5品
5103	GAP [※] 認証数	0経営体	3経営体
5104	担い手への農地利用集積率	20.2%	35.0%
5105	道の駅いたこでの農業生産品売上額	24,781万円/年	26,267万円/年

4 施策の展開

【施策の展開方針】

潮来市の主要な産業である農業を将来にわたり維持していくため、農業経営基盤の強化や担い手農家の育成、生産基盤の維持管理を図るとともに、道の駅を活用し地産地消や6次産業化による農業及び地域の活性化を図ります。また、畜産業や水産業の振興等に取り組み、畜産・水産物等の食資源の保全や活用を図ります。

施策 5-1-1 農業経営基盤の強化

【取組方針】

- 潮来市の中心である水稻の生産振興を図るため、米の高品質化と、環境に配慮した安全・安心な農産物生産とのバランスに配慮した米づくりに取り組みます。
- 地域間での販売競争が激化する中、地域特性を生かした作物生産や水田農業の構造改革に取り組みます。

【主な事業、取組】

- 買ってもらえる米づくり推進事業
- 水田農業構造改革推進奨励事業

施策 5-1-2 担い手農家の育成	
【取組方針】 <ul style="list-style-type: none"> ●耕作放棄地や遊休農地等の課題を解消し、農地の有効活用を図るため、認定農業者を中心とした農地集積を推進します。併せて、農業の競争力強化のため、茨城県が推進しているメガファーム[※]育成事業を進めます。 ●農業を取り巻く情勢が年々厳しさを増す中、経営感覚の優れた担い手の育成、確保を推進し、地域農業の中核的な農業者の育成を図ります。 	【主な事業、取組】 <ul style="list-style-type: none"> ■潮来市農地流動化奨励金交付事業 ■茨城モデル水稻メガファーム育成事業 ■農地中間管理事業 (潮来市農用地利用促進対策事業)
施策 5-1-3 地産地消[※]・6次産業[※]化の推進	
【取組方針】 <ul style="list-style-type: none"> ●農産物を使用した潮来市ならではの新商品の開発に引き続き取り組み、農業の振興及び地域経済の活性化を図ります。 ●生産者と協力し、農産物の地域での利活用を促進するとともに、生鮮品・加工品等の販路拡大やビジネスマッチング[※]等に取り組みます。 	【主な事業、取組】 <ul style="list-style-type: none"> ■地域活力創出事業 (道の駅いたこ等) ■地産地消販売促進事業 (6次産業化推進事業)
施策 5-1-4 農村環境、生産基盤の維持・管理	
【取組方針】 <ul style="list-style-type: none"> ●農地・農業用水等の資源、自然環境、景観形成といった多面的機能の維持を図るため、住民意識の醸成を図るとともに、農用地の保全・維持管理等に取り組みます。 ●土地改良施設の経年劣化による維持管理や機器更新の課題に対応するため、引き続き、かんがい排水整備や土地改良等の農業生産基盤の整備に取り組みます。 	【主な事業、取組】 <ul style="list-style-type: none"> ■国営造成施設管理体制整備促進事業 ■多面的機能支払交付金 (農地維持支払、資源向上支払) ■かんがい排水事業 ■経営体育成基盤整備事業 (担い手育成型)
施策 5-1-5 畜産業・水産業の振興	
【取組方針】 <ul style="list-style-type: none"> ●潮来市の特徴的な食資源として、安全で高品質な畜産物を供給するため、引き続き、畜産防疫や衛生環境の改善に取り組みます。 ●稚魚放流等の水産資源の保護に取り組み、水産業の支援を図ります。 	【主な事業、取組】 <ul style="list-style-type: none"> ■畜産防疫(伝染病対策) ■稚魚の放流
施策 5-1-6 森林資源の維持	
【取組方針】 <ul style="list-style-type: none"> ●森林の持つ水源のかん養[※]や生物多様性の保全等多面的な機能の維持を図るため、計画的な伐採・植樹等による維持・管理に取り組みます。 	【主な事業、取組】 <ul style="list-style-type: none"> ■森林機能の維持確保

第5章 産業振興分野

基本施策5-2 商工業

1 現在の取組と主な課題

【現在の取組】

- 市民の消費行動の広域化に伴い、購買力の周辺地域への流出が続いている中、潮来市では商工会等と協力し、新たな視点での魅力づくりや活性化に取り組んでいます。
- 商工会では、平成28年度から「水郷潮来ハロウィンパーティー」を開催しており、親子が参加して楽しめる新たなイベントとして好評となっています。
- また、潮来市の中での新たな働き方を模索し、若者の定住促進につなげるため、起業や創業を目指す人に対する支援を実施しています。



元気市

【主な課題】

- 商業については、店舗の減少に伴い街の賑わいが少なくなっており、街なかが増加する空き地・空き店舗対策や商業全体の活性化が必要となっています。
- 工業については、潮来工業団地に新たな用地がないことから、工業用地の確保が必要となっています。
- 活力ある地域づくりに向け、商工業者との連携強化や若年層の多様な取り組みを支援する必要があります。また、賑わい創出を目指して、新たな商業施設等の誘致や空き店舗を生かした活力づくり等を検討していく必要があります。



水郷潮来ハロウィンパーティー

表－工業の状況

区分	(単位)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2016年 (H28)
事業所数	(事業所)	56	56	51
従業者数	(人)	1,861	1,852	1,856
製造品出荷額	(百万円)	55,796	56,597	54,926

資料：工業統計調査

表－商業の状況

区分	(単位)	2004年 (H16)	2007年 (H19)	2014年 (H26)
事業所数	(店)	417	367	292
従業者数	(人)	2,333	2,142	1,896
商品販売額	(百万円)	48,263	39,906	42,262

資料：商業統計調査

2 目指す姿

- 市内の各所で多様な働き方に対応した環境が整い、創造性のある人材が活躍し、市内の商工業の賑わいが育まれています。

3 目標指標

	目標指標	基準値（2018）	目標値（2023）
5201	新たに進出した企業数	4社	5社

4 施策の展開

【施策の展開方針】

地域経済の活性化に向けて、市内の店舗や企業等の活動に対する支援やイベント・賑わいづくり活動等に対する支援を行い、商工業の振興を図ります。

また、従来の枠に捉われない働き方や取り組みを支援し、6次産業^{*}化を進めるとともに、多様な人材（人財）の活用や地域の活性化を図ります。

施策 5-2-1 商業の振興

【取組方針】

- 商工会等と連携し、商業イベントや賑わいづくり活動等を支援するとともに、市内店舗・企業等と連携した関連商品販売や情報発信を促進し、経済効果の拡大に取り組みます。

【主な事業、取組】

- 商工祭(商い創造祭)

施策 5-2-2 工業の振興

【取組方針】

- 市内企業の経営安定や事業継承に向けて、商工会や金融機関等と連携し、各種融資制度や講座等の情報提供やアドバイスを行います。
- 指定業種企業の進出や定着を促進するため、固定資産税の優遇措置等による支援を実施します。

【主な事業、取組】

- 固定資産税の優遇措置

施策 5-2-3 まちの賑わい創出

【取組方針】

- 多様な人材の多様な働き方を支援し、まちに賑わいを創出するため、若年層をはじめとした起業・創業希望者に対して、商工会や金融機関などと連携し、起業・創業のための総合的支援の充実を図ります。
- 地元の商店街や既存の事業者との調和を保ちながら、市民に新たな賑わいや利便性を提供するとともに、相乗効果を発揮できる商業施設などの誘致を図ります。

【主な事業、取組】

- 起業・創業支援事業
- 商業施設誘致事業

第5章 産業振興分野

基本施策5-3 観光業

1 現在の取組と主な課題

【現在の取組】

- 水郷潮来あやめまつりは、毎年5月末から約1ヶ月、水郷潮来あやめ園で開催され、約500種100万株のあやめ（花菖蒲）が会場を彩ります。期間中は、潮来花嫁さん「嫁入り舟」などのイベントが行われ、毎年、多くの観光客が訪れます。
- 潮来市は成田からのアクセスもよく、外国人観光客が増加しています。近年は、外国人観光客に向け、観光ホームページの6か国語翻訳、Wi-Fi[※]設置、飲食店のグルメサイトへの登録推進など、海外への情報発信に力を入れています。
- 新たな観光・交流拠点として、水郷旧家磯山邸や、津軽河岸あと広場（石蔵など）整備等の前川かわまちづくり計画に沿って取り組んでおり、水郷文化を生かしたジャパニーズカルチャーの魅力づくりに力を入れています。
- 平成29年度には国土交通省「日本風景街道[※]」に、「いたこ あやめ 花街道」として登録されました。これをきっかけとして、道の駅や市内全域で積極的に花を植え、おもてなしする活動が広がっています。また、道の駅いたこが、平成30年度に「重点道の駅」として選定され、観光振興や災害時の対応拠点としての充実が期待されます。

【主な課題】

- 観光は、潮来市において重要な産業であり、水郷潮来あやめ園や前川を舞台に、あやめ娘や嫁入り舟等のおもてなしに取り組んでいるものの、観光来訪者の高齢化、通年型観光資源の不足等が課題となっています。
- また、国内における人口減少が進み、国内市場が縮小する中、今後の訪日外国人客の誘致は観光において重要となっています。潮来市においても、東京オリンピック開催を契機として、外国人観光客の取り込みや経済効果の拡大がこれまで以上に必要となっています。
- 6次産業[※]化、特産品開発、フィルムコミッション[※]等の取り組みを一層強化するとともに、サイクリング等の周辺地域と連携した観光ルートの形成や宿泊施設の確保等も課題となっています。

表－観光入込客数の推移 (単位：人)

区分	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)
観光入込客数	2,556,800	2,687,200	3,428,000	2,283,700	1,842,000

資料：茨城県観光客動態調査

※2016年8月から観光見込客数の積算方法の変更のため減少

表－外国人宿泊者数（月別） (単位：人)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外国人宿泊客数	22	59	199	329	195	103	80	140	303	178	315	254	2,177

平成29年調査 潮来市旅館組合13事業所の合計

資料：水郷潮来観光協会

2 目指す姿

○地域資源の魅力増進や新たな観光資源の創出が進み、水郷、歴史・文化資源等を巡る国内外からの観光客が増大し、観光産業が活性化しています。

3 目標指標

	目標指標	基準値（2018）	目標値（2023）
5301	観光入込み客数	2,283,700 人／年	2,600,000 人／年
5302	ホテル・旅館の外国人宿泊者数	3,500 人	5,000 人
5303	水郷潮来あやめまつり来場者数	820,000 人	850,000 人

4 施策の展開

【施策の展開方針】

潮来市の水郷文化を生かした日本一の水路のまちを目指すとともに、通年型観光の展開を図るため、おもてなし力の向上や観光情報発信の強化、地域資源の発掘と磨き上げ、広域観光の充実等により、観光振興を図ります。

また、従来の観光振興に加え、訪日外国人の増加に対応するインバウンド※観光の促進、つくば霞ヶ浦りんろードの活用、観光マネジメントの強化により、観光産業による地域経済の活性化を目指します。

施策 5-3-1 水郷文化を生かした通年型の観光への取り組み

【取組方針】

- 「水郷潮来あやめまつり大会」を中心に、嫁入り舟、手漕ぎろ舟等のオフシーズン開催や、あじさいの杜、万燈会等の他の市内観光資源との連携等、通年型観光事業への展開を図ります。
- 新たな観光・交流拠点として、水郷旧家磯山邸や津軽河岸跡周辺（石蔵等）の利活用を促進し、更に新たな河岸の整備を進め、新たな水郷文化の魅力発信に取り組みます。
- 観光振興計画の策定に取り組みます。
- 道の駅いたこについては、「重点道の駅」の指定を受けたことから、情報発信機能をはじめとする観光拠点としての機能を高めるとともに、水郷潮来バスターミナルとの連携や防災拠点としての機能強化に取り組みます。

【主な事業、取組】

- 水郷潮来あやめまつり大会
- 水郷潮来花火大会
- ろ舟遊覧事業
- 観光振興計画の策定

施策 5-3-2 市民協働によるおもてなし力の向上

【取組方針】

- 観光拠点である水郷潮来あやめ園について、今後も市民参加による整備を推進するほか、潮来市全体を花でおもてなしするための活動を推進します。
- 潮来の魅力を伝える観光ボランティアの育成を推進するほか、水郷潮来あやめ娘による観光客のおもてなしや PR 活動を推進します。

【主な事業、取組】

- 水郷潮来あやめ園整備事業
- 観光ボランティア事業

施策 5-3-3 地域連携による広域観光の活性化

【取組方針】

- 潮来市、鹿嶋市、千葉県香取市との連携により、国内外に向けた水郷三都の PR 強化や商品開発等の推進について、官民一体となって取り組めます。
- アントラズホームタウン DMO[※]を中心として、鹿行地域内の他自治体が連携し、スポーツツーリズム[※]を核とした観光の充実に取り組めます。

【主な事業、取組】

- V J C 事業[※]
- アントラズホームタウン DMO 事業

施策 5-3-4 観光プロモーション活動の充実

【取組方針】

- 潮来市の魅力を内外に発信し、知名度、認識度等を向上するため、従来のチラシ、パンフレットに加えインターネットや SNS[※]による情報発信の強化に取り組めます。
- 潮来市 PR キャラクターあやめの活用や、水郷いたこ大使との連携により PR 活動の充実に図ります。

【主な事業、取組】

- 潮来市 PR キャラクターあやめ事業
- シティプロモーション事業

施策 5-3-5 インバウンド[※]観光の促進

【取組方針】

- 外国人観光客を誘客し、地域経済の活性化を図るため、海外に向けた情報発信の充実や強化を図ります。
- 外国語による Web 環境での案内の充実や外国人あやめ娘による通訳等、滞在環境の充実により受け入れ強化を図ります。
- 外国人観光客のニーズを把握し、既存観光資源の活用とともに、新たな観光資源の発掘を図ります。

【主な事業、取組】

- 外国人観光客誘致事業
- 観光メニューの拡充

施策 5-3-6 ロケ地誘致の推進

【取組方針】

- ロケ候補地について、ホームページによる情報発信やプロモーション[※]活動を推進し、潮来市にふさわしい、PR 効果の高い作品等の誘致を図ります。
- エキストラ登録や撮影への協力・支援等、市民参加を促進します。
- ロケ地巡り等、ロケ地を活用した観光振興に取り組めます。

【主な事業、取組】

- 映像制作支援事業
(フィルムコミッション[※])

施策 5-3-7 観光マネジメント※の強化

【取組方針】

- 関係機関や団体、観光産業組織等がこれからの観光に対する共通認識を持ち、魅力ある潮来の観光地づくりをマネジメントできるよう、観光まちづくり会社の育成を図ります。
- 観光産業による地域経済の活性化を目指し、観光協会や商工会、高等教育機関等が連携し、マネジメントに関する専門的な知識や能力を有する人材の育成を図ります。

【主な事業、取組】

- 観光マネジメントの強化



水郷潮来あやめまつり



外国語による観光ホームページ



水郷いたこあやめまつりの仮設店舗

第5章 産業振興分野

基本施策 5-4 新産業・雇用

1 現在の取組と主な課題

【現在の取組】

- 潮来市内には、平成 30 年時点で潮来工業団地に 7 社、潮来 IC 周辺地区に 6 社が立地し、須賀地区や水原地区にも企業が立地しています。潮来工業団地内の工業用地は完売しており、茨城県鹿島臨海地域基本計画に基づき、重点促進区域である潮来 IC 周辺地区等への企業誘致を進めています。
- 新たな働き方を支援し、地域の活力形成につなげるため、起業・創業に関する支援を行っています。
- 人材を確保するため、地元の企業と連携し、求職者のためのスキルアップ講座の開催や、茨城県と連携し、高等学校等に対する就職説明会や相談会を実施しています。

【主な課題】

- 工業用地の不足と就業機会の確保に対応するため、潮来 IC 周辺における企業誘致に取り組んでいますが、法規制により企業誘致が進んでいない状況となっています。
- 働き方改革や雇用形態の多様化が進む中で、起業・創業に対する関心の高まりもみられており、今後も創業期における支援が必要となっています。また、街なかの空き店舗等を活用したコワーキングスペース[※]への展開も求められています。
- 潮来市の将来を担う人材を確保するため、企業や関係機関と連携し、地元出身者や首都圏居住者等の UIJ ターン[※]の促進を図るとともに、高校生への就職支援や PR 等に取り組む必要があります。



潮来 IC 周辺地区

2 目指す姿

- 高速道路の利便性や鹿島臨海工業地域を背景とした企業誘致により、雇用機会や就業の場が確保され、地域経済が活性化されています。

3 目標指標

	目標指標	基準値（2018）	目標値（2023）
5401	新たに進出した企業数（再掲）	4社	5社
5402	創業支援事業を受講した者による新規創業件数	5件	7件

4 施策の展開

【施策の展開方針】

市内で働く環境を整えるため、企業誘致の推進による新たな働く場の確保や、起業・創業支援等により様々な世代の多様な働き方を促進します。また、将来に向けて人材を確保するため、地元企業等と連携し、技術向上のための講座の開設、就職説明会やインターンシップ[※]の実施等、地元企業への就職支援に取り組むほか、社会人のキャリア形成に向けた支援等についても検討を進めます。

施策 5-4-1 新たな働く場の確保（企業誘致の推進）

【取組方針】

- アンケート調査やヒアリング等により企業のニーズを把握し、企業立地に向けた優遇制度の紹介や企業訪問、PR 活動等を推進します。
- 潮来 IC 周辺地区等の新たな産業用地の確保に取り組むとともに、首都圏へのアクセスの利便性を生かし、企業誘致を図ります。

【主な事業、取組】

- 企業訪問及び PR 活動、企業アンケート調査
- 企業立地優遇制度による支援
- 新たな産業用地の確保（潮来 IC 周辺地区土地利用基本構想関連）
- 企業誘致事業

施策 5-4-2 多様な働き方の促進

【取組方針】

- 多様な働き方を促進するため、若年層をはじめとした起業・創業希望者に対して、商工会や金融機関等と連携し、起業・創業のための総合的支援の充実を図ります。
- 都心に近いという環境を生かし、潮来の自然を活用したサテライトオフィス[※]の立地を促進するための支援を図ります。

【主な事業、取組】

- 起業・創業者支援事業
- コワーキングスペース[※]事業
- サテライトオフィス誘致・テレワーク推進事業[※]

施策 5-4-3 将来の潮来を担う人材の確保

【取組方針】

- 地元企業と連携し、地元高等学校や地元出身の大学生に向けた就職説明会、インターンシップ[※]の実施等、雇用促進のためのマッチングに取り組めます。
- ハローワークと連携し、地元企業の情報発信を強化するとともに、求職者の技術向上のための講座開催等の支援を図ります。

【主な事業、取組】

- 工業団地企業による地元高校生インターンシップや説明会開催
- 潮来ワークライフ発信事業